東海高校が創る 文化祭。テーマは「青春想造」

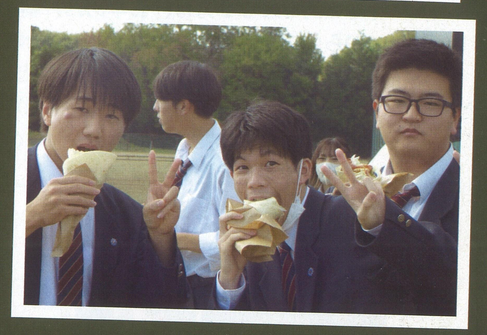
やりたいことを諦めない！みんなの想いを“カタチ”にする

#文化祭
#キッチンカー
#高校生

「高校生と文化祭」――。皆さんはこの言葉を聞いて、どんな思い出がよみがえりますか。

11月1日・2日に開催された県立東海高等学校の文化祭「コスモス祭」について、企画立案に携わった高校生と、その背中をそっと押し続けた先生の想いに焦点を当てて、東海村スマホクリエイターズLab.が取材しました。

【問い合わせ】地域戦略課プロジェクト推進担当（☎282局1711内線1338）



東海高校と文化祭

東海高校では、一般公開される「晴嵐祭」を3年に一度、校内のみ（生徒および教職員）で行われる「コスモス祭」をそれ以外の年に開催しています。本来であれば、2年前に開催される予定だった「晴嵐祭」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止を余儀なくされました。何かと制限された学校生活を送ってきた3年生にとっては、今年の「コスモス祭」が、卒業までに残された数少ない学校行事となりました。

キッチンカーでランチ大作戦

みんなの思い出に残る文化祭にしようと生徒会のメンバーが中心となって作り出した企画は、「キッチンカーでランチ大作戦」。

一般社団法人ラフェット・デラーブルの協力を得て、3年生の各クラスに1台ずつ、計4台のキッチンカーを配置することが決まりました。2回の事前授業を行い、キッチンカーの運営や働き方などを学ぶとともに、当日販売するスペシャルメニューや価格、販売目標の設定、PR方法、当日の役割分担など、お互いに協力し合いながら準備を進めました。

迎えた当日。東海高校の校庭には、豚丼・ピッツァ・ドーナツボール・トルティーヤなどを販売する4台のキッチンカーが並ぶ特別な風景が広がりました。

販売開始とともに「おいしい豚丼いかがですか？」、「ピザ焼き立てですよ～」と、生徒たちの元気な声が響き渡りました。自分たちで決めたメニューをひとつでも多く販売しようと、それぞれのクラスが一つになっていきました。

列が長くなってくると、「お客さんの並ばせ方はどうするか」、「出来立てをスムーズに渡すにはどうするか」など、みんなで相談しながら臨機応変に対応していく生徒たち。

3年生の活躍により、普段はなかなか食べられないランチに、1・2年生も大喜び。秋晴れの下、会場には、楽しそうな話し声や笑い声があふれていました。

「キッチンカーでランチ大作戦」は、キッチンカーと東海村役場、東海高校の「産・官・学」が手を取り合い、生徒たちのやりたいことを実現した新しい取り組みとなり、今後のさらなる展開も期待される大きなプロジェクトとなりました。来年は一般公開の「晴嵐祭」が開催される予定です。東海高校生のさらなるチャレンジにぜひご期待ください。

＼ラフェット・デラーブルから！／

協力してくれたキッチンカーの皆さん

河野 辰弥さん
本格炭火焼き豚丼
「Porco」

白見 郁美さん
本格薪窯ピッツア
「Pizza Zucca」

仲田 百恵さん
まんまるドーナツボール
「Magnet House」

石橋 江莉加さん
トルティーヤ&ドリンク
「DRIN CAR」

interview　想いをカタチに

生徒会会長（文化祭当時）
飯塚 翔鳥さん（3年）

今回の文化祭では、自分たちの手で何か新しいことをやりたいと思っていました。文化祭のテーマは“みんなが主役、みんなの想いを乗せる”との願いから「青春想造」という造語にしました。企画は、生徒会で企画書を作り上げ、自分たちの気持ちを直接校長先生へ伝えました。校長先生が私たちの想いを聞き入れてくれたときは、本当にうれしかったです。文化祭全体の組み立てや細かなスケジュール作りなど、開催に向けた準備は本当に大変でしたが、自分たちが思い描いた文化祭を実現することができて、今は達成感でいっぱいです。私たち3年生は今年の文化祭が最後となりましたが、来年の「晴嵐祭」では、東海高校の良き伝統を受け継ぎつつ、新しいことにもチャレンジして自分たちらしい文化祭を作ってほしいと思います。

生徒の想いに応える　interview

本来コスモス祭は1日だけで行う限定的な文化祭ですが、生徒会から「2日間やりたい」という強い想いが伝わってきました。実行するなら中身の濃い2日間にしようと話したところ、今回の企画を作り上げてくれました。キッチンカーを呼んでにぎわいを作るだけではなく、生徒たちが深く関われる企画を、生徒たちの手で作り上げてくれたことが一番うれしかったです。日頃から「失敗自体はマイナスではない。気持ちがぶれなければ、次につながるエネルギーになる」と生徒たちに伝えています。今回も失敗を恐れず挑戦してくれました。この気持ちを忘れることなく、これからも大きく成長していってほしいと思います。

東海高校校長
正木 昇さん